

新除草・調節剤

植水稻においても使用をさける。また散布の際はまきむらを生じないように均一に散布する。

トクノール・S粒剤

NTN-5006・S除草剤

(取扱メーカー) 日本特殊農薬製造株式会社

対象作物: 普通移植水稻

性状・作用特性: 本剤は、新しいタイプの低毒性有機リン剤(0-エチル 0-(2-ニトロ, 4-メチルフェニル)N-イソプロピルチオノホスホロアミデート)6%とシメトリン1.5%との混合粒剤である。

NTN-5006は、各種雑草の発芽阻止、生育抑制作用にすぐれ、しかも、根部吸収型のシメトリンとの混合で、著しい相乗作用を発揮する土壌処理剤である。このため、発芽前および生育中期の一年生雑草とマツバイにも有効である。本剤は、土壌中の移動性が小さく、残効性が長いので、田植後1回の処理で長期間にわたり効果が期待できる。人畜毒性は低く、魚毒性も通常の使用で問題にならない。

使用方法: 砂壤土、極端な漏水田を除き、普通移植水稻の田植後10日まで、10アール当たり本剤3kgを均一に散布する。

植調協会だより

◎ 第20回役員会

昭和45年12月21日に開催し、役員の改選を行ない、次の者が役員に就任した。

理事 (会長)	河田 党	理事	行方 直夫
〃 (常務)	吉沢 長人	〃	西 圭一
〃	鎌谷 栄次	〃	平岡 治夫
〃	木村 重雄	〃	平瀬 嘉次
〃	清水 茂	〃	堀 正侃
〃	代谷 治郎	〃	三島 京治
〃	瀬古 秀生	〃	三井 鼎三
〃	立川 宗保	〃	横山 忠雄
〃	戸町 義次	〃	天辰 克巳
〃	徳安健太郎	〃	川野辺静男
〃	長沢 正雄		
監事	上井忠太郎	監事	松本 清蔵
	松田 寿郎		

なお、前理事秋浜浩三氏、橋本 与氏は辞任し、天辰克巳氏、川野辺静男氏が新任された。

◎ 人事異動

任 植調研究所長 天辰 克巳(1月)

編集後記

1971年を迎える。

化学工業界、なかでも農薬業界にとっては、多事多端な年であるかもしれない。農薬取締法も改正され、1月14日より施行された。かかる背景を背に受けて、農業生産の合理化に貢献する人体に安全な薬剤の開発と正しい普及に努力するよう心がけなければならない。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
東話 東京(03)502-4188(代)

昭和46年1月発行

第4巻第10号

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢 長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番